

FFP-PRG-80E

EPSON「EB-585W」対応

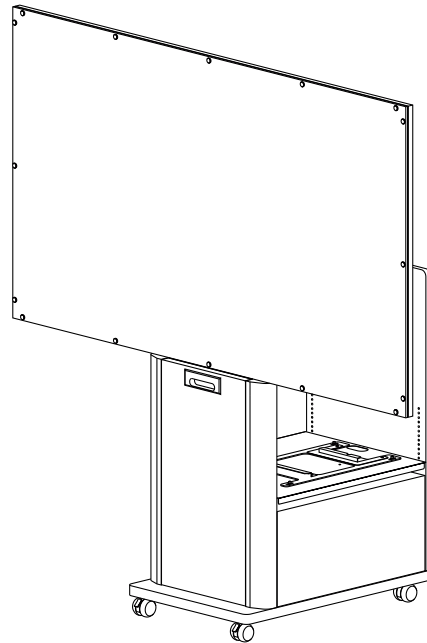
# Prography

- プログラフィィ -

## 取扱説明書



T2017.02.06 第2版



### 安全上のご注意

必ずお守りください

ご購入ありがとうございます

ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みください。特に「安全上のご注意」は必ずお読みください。お読みになった後は、いつでも取り出せる場所に大切に保管してください。また、本製品は生産より出荷に至るまで厳重に検査しておりますが、万一製品に破損またはご使用に支障をきたす場合は、誠に恐れ入りますが購入先または下記宛先までお問合せください。

日本フォームサービス株式会社 TEL：03-3636-0011 URL：http://www.forvice.co.jp Mail：info@forvice.co.jp

■お使いになる人や他の人への危害、物的損害を未然に防止するため、必ずお守りいただきたいことを、次の表示で区分しています。



**警告**

この表示の欄は「死亡または重症を負うことが想定される危害の程度」です。



**注意**

この表示の欄は「傷害を負うことが想定されるか、または物的損害の発生が想定される危害・損害の程度」です。

■お守りいただきたい内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



この絵表示は、絶対にしてはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。



この絵表示は、必ず実行していただきたい「指示」内容です。



この絵表示は、気をつけていただきたい「注意」内容です。

### 警告・注意



スクリーンの取付は、必ず2人以上で作業を行ってください。1人での作業は事故の原因となります。



スクリーン/プロジェクターの設置後は、メンテナンス時以外にネジをゆるめたり、はずしたりしないでください。スクリーン/プロジェクターの落下など事故の原因となります。



「プログラフィィ」の改造・変更は行わないでください。スクリーン/プロジェクターの落下破損など事故の原因となります。



壊れた部品を使用しないでください。落下によるけがの原因となります。万一、部品が壊れた場合は販売店にご相談ください。



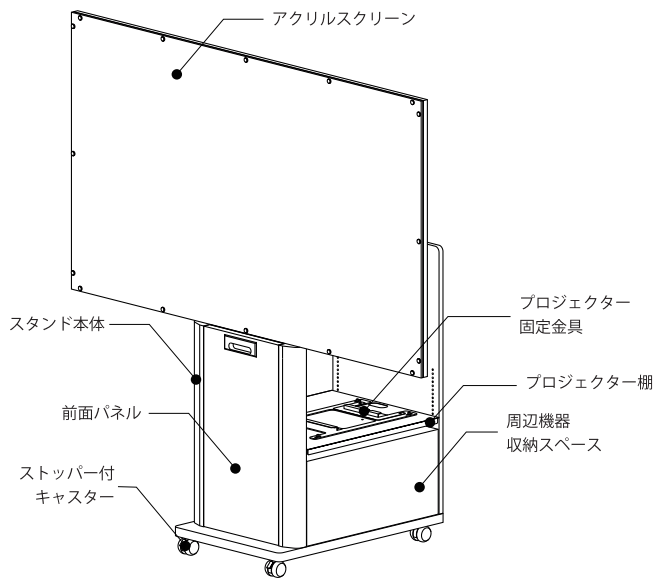
「プログラフィィ」を傾斜した場所、不安定な場所に設置しないで下さい。スクリーン/プロジェクターやスタンド本体の落下・転倒などによる破損・けがの原因となります。



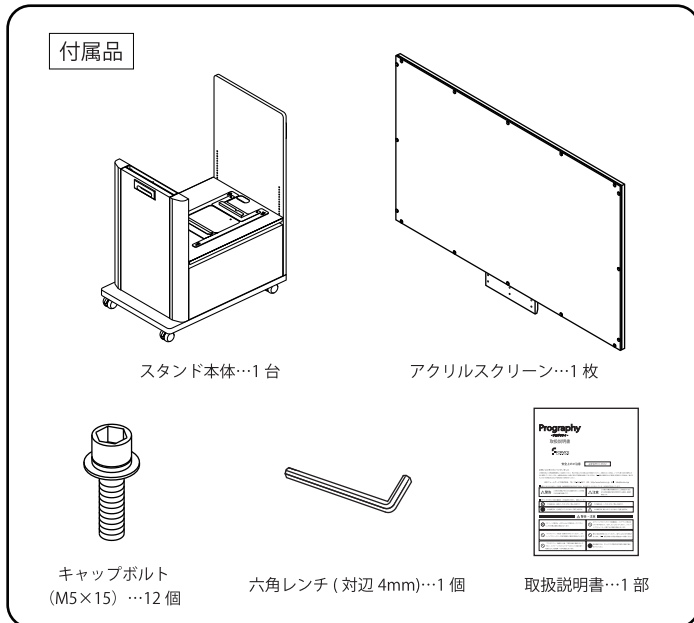
安全確保のため、ボルトやネジ類は所定の場所に確実に締め付けてください。

# Prography 各部名称・付属品

-プログラフィ-

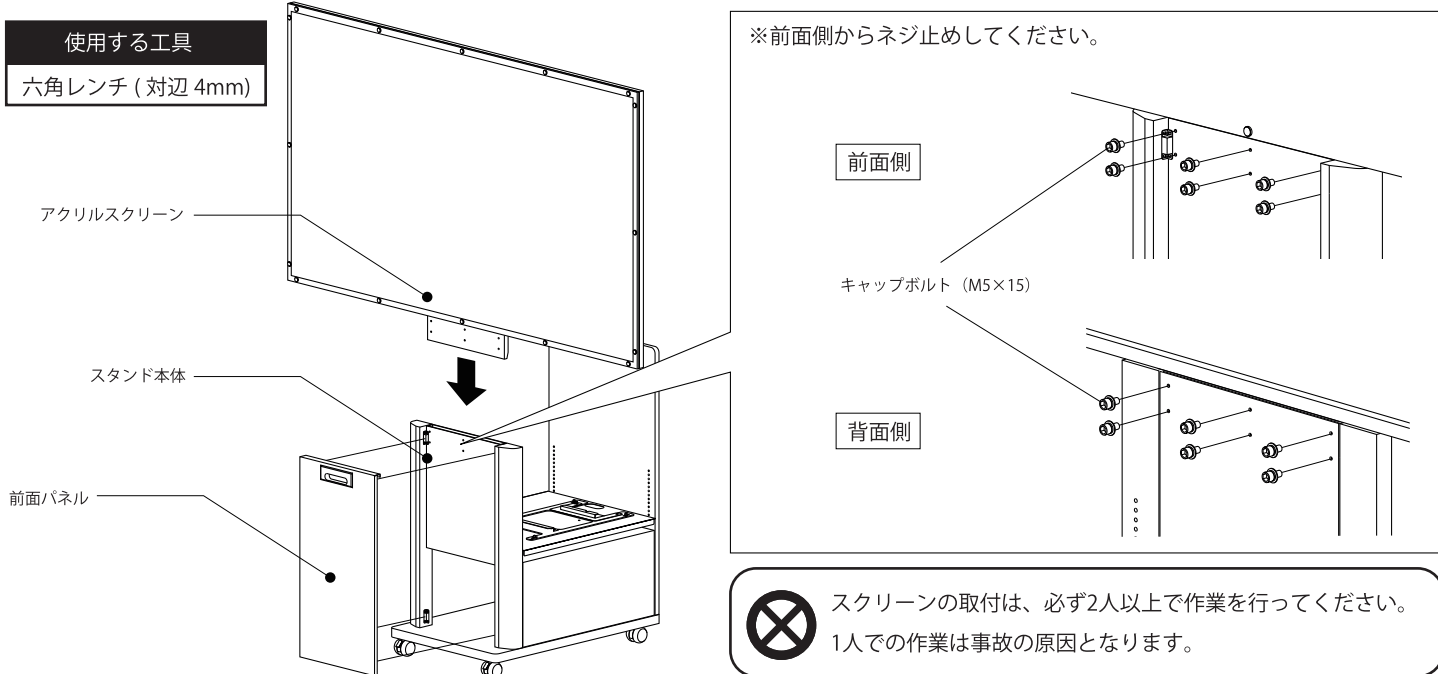


■製品仕様  
 型番：FFP-PRG-80E 製品重量：85kg (スタンド本体 60kg アクリルスクリーン 25kg)

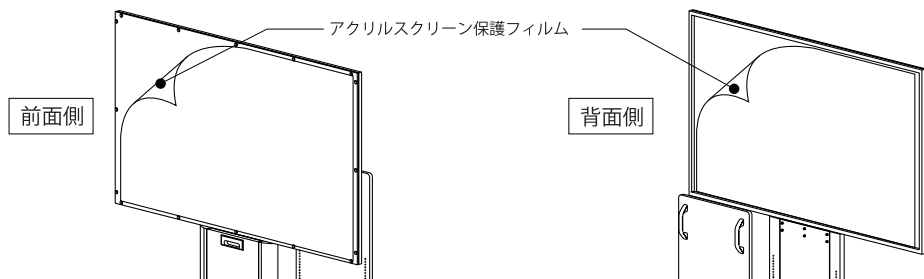


## 1 「アクリルスクリーン」を「スタンド本体」に取り付けます。

I. 「スタンド本体」の「前面パネル」を外し、「アクリルスクリーン」を「スタンド本体」前側にある溝にはめ込んでください。その後、六角レンチで「キャップボルト (M5×15)」12本を使用し、「アクリルスクリーン」と「スタンド本体」を前面、背面の順番に固定してください。

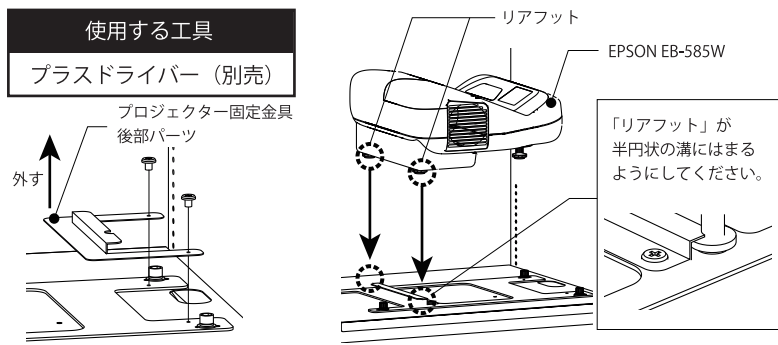


II. 「アクリルスクリーン」の保護フィルムを前面側・背面側ともにはがしてください。

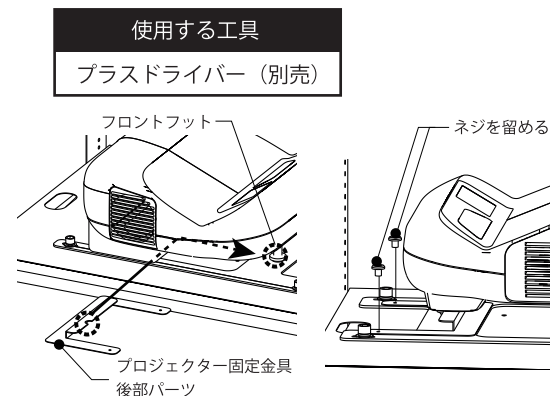


## 2 プロジェクターを設置する

I. 「プロジェクター固定金具」後部パーツを、プラスドライバー（別売）を用いて取外してください。次に、プロジェクター「EPSON EB-585W」にプロジェクター付属の「リアフット・フロントフット」を取付けた後、「リアフット」2本が「プロジェクター固定金具」の半円状の切欠きにはまるよう設置してください。



II. 「フロントフット」が、「プロジェクター固定金具」後部パーツの半円状の切欠きにはまるよう設置し、プラスドライバーでネジ留めをしてください。



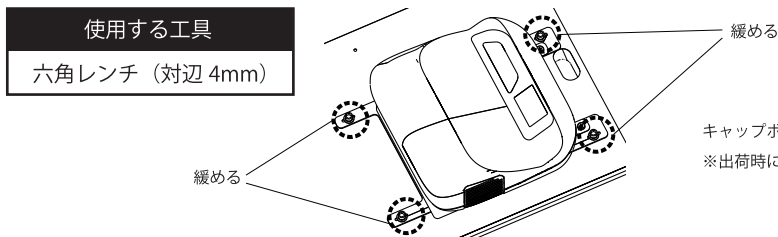
III. プロジェクターの電源を入れ、スクリーンへの投影を行ってください。この時、投影される映像のアスペクト比を「16:9」に設定してください。

スクリーンと投影される映像にズレがない場合

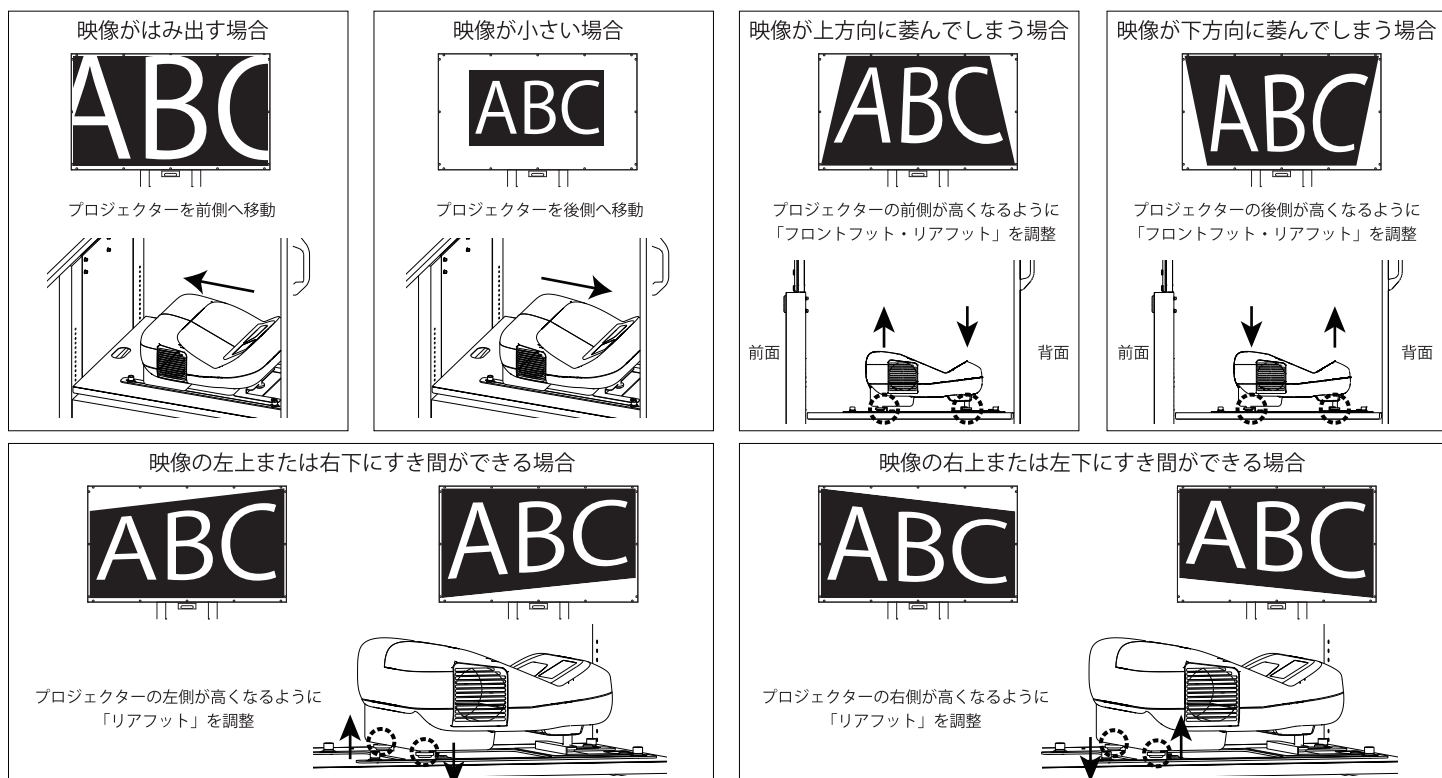
プロジェクター位置の調整の必要はありません。次のページの「3. 各種ケーブル・周辺機器をスタンド内部に収納する」に進んでください。

スクリーンと投影される映像にズレがある場合

プロジェクター位置の調整を行います。「プロジェクター固定金具」と「プロジェクター棚」を固定している「キャップボルト (M5×15)」4本を六角レンチで緩めてください。その次に、投影される映像を確認しながらプロジェクターの位置を前後に調整してください。また、映像が台形に歪んでしまう場合は、プロジェクターの「フロントフット・リアフット」の高さを調整してください。



キャップボルト (M5×15) 4本を、六角レンチで緩めてください。  
※出荷時にネジを止めてある位置が、計算上の標準の投影位置となります。



※必要に応じてプロジェクター付属のリモコンで映像の微調整を行ってください。リモコンによる映像の調整方法は、プロジェクターに付属する取扱説明書をご確認ください。

### 補足：プロジェクター棚の上下調整方法

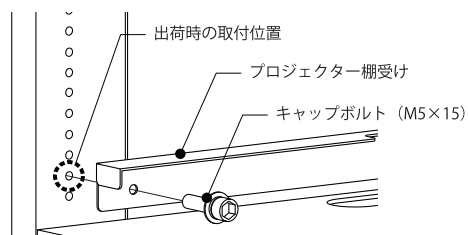
プロジェクター棚を上下方向に調整する際は、下記の方法で行ってください。

※映像の上下位置調整は、プロジェクターのリモコン操作でも行うことができます。

「プロジェクター棚」を取り外し、前後の「プロジェクター棚受け」を「六角レンチ（対辺4mm）」で取り外して、「プロジェクター棚」を固定したい位置に再度「プロジェクター棚受け」を取り付けて下さい。最後に「プロジェクター棚」を「プロジェクター棚受け」の上に載せてください。

#### 使用する工具

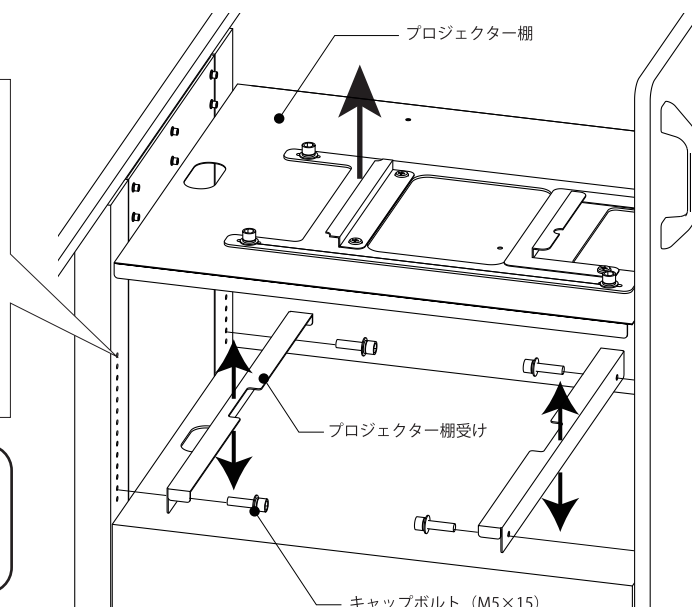
六角レンチ（対辺4mm）



「プロジェクター棚受け」の出荷時の取付位置は「下から2番目」となります。出荷時の位置が、計算上の標準の投影位置となります。

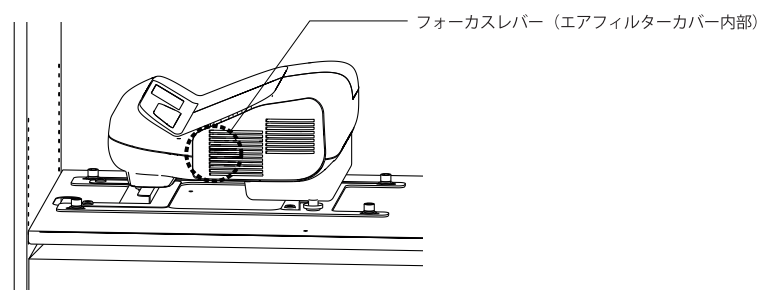


プロジェクター本体を載せたまま、プロジェクター棚を移動しないでください。プロジェクターの落下破損など事故の原因となります。



### ピントの調整

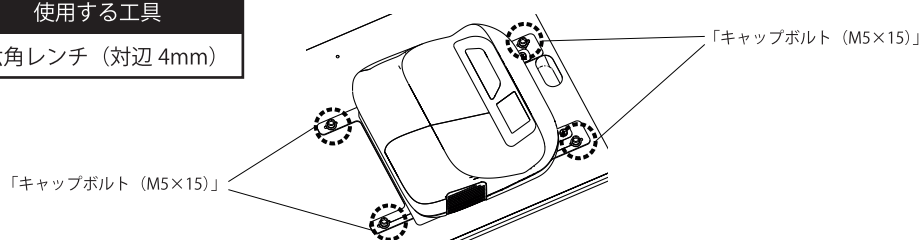
ピントが合っていない場合は、プロジェクターのフォーカスレバーを使用してピントを合わせてください。



Ⅲ. 調整のために緩めていた「キャップボルト（M5×15）」3本を六角レンチで本締めします。

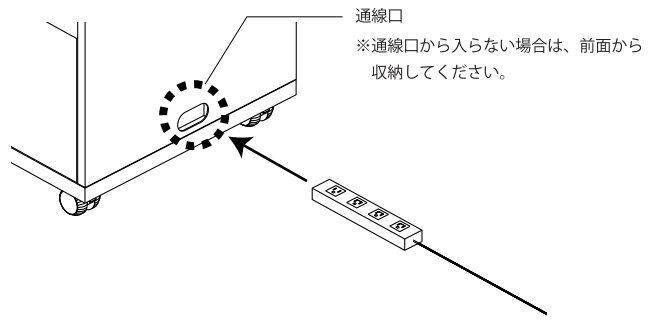
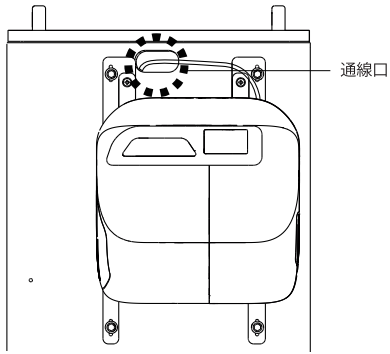
#### 使用する工具

六角レンチ（対辺4mm）



### 3 各種ケーブル・周辺機器をスタンド内部に収納します。

各種ケーブルを通線口からスタンド内部に収納することができます。また、電源タップ（別売）をスタンド背面の通線口から収納することができます。



前面パネルを取り外して、PC や STB などの周辺機器を  
収納することができます。

